



## 発生動向等サーベイランス情報

### 県内の感染症の情報をメールで定期配信中



栃木県感染症情報センターでは、県内の感染症関連情報をHPで公開しています。また、HPの公開に合わせて希望者にメールを配信していますので、メーリングリスト（TIDC\*メール）にぜひ登録してみてください！

#### ① 配信の頻度

原則 週1回

#### ② 注意事項

「TIDCメール」は以下のアドレスから送信します。

迷惑メールフィルタを設定している場合は御注意ください。

kenkou-kc-tidc@pref.tochigi.lg.jp

#### ③ 登録方法

件名に『TIDCメール配信希望』と明記し、メールを送信してください。

新規登録申込先メールアドレス：

kenkou-kc-tidc@pref.tochigi.lg.jp

送信内容：1. 氏名

2. 所属

3. メールアドレス



▲TIDCメール  
(栃木県HP)

\*TIDC：Tochigi prefectural Infection Disease surveillance Center

## 感染対策のポイント

### シリーズ20：麻疹(はしか)の発生が大ごとになる理由

子どもを中心に流行する感染症には様々なものがあります。手足口病、プール熱、咽頭炎など、毎年のように流行するものもあれば、風しんや水痘、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）のように、ワクチンで流行が抑えられていて、様々な条件によって時々流行するものもあります。この中で、麻疹(はしか)は別格の扱いをされていて、1例でも発生すると、大々的に報道されたりして大ごとになります。麻疹は感染の拡がり方が強力で、免疫がない人が感染者に接触すると、ほぼ100%発症することが知られています。また病原性も高く、先進国でも30%近くに中耳炎や肺炎などの重大な合併症が見られ、1000人あたり1人は死亡するとされています。ほかに、数千～数万人に1人は、治癒してから数か月～十数年の期間を経て、脳が進行性に障害される後遺症である「亜急性硬化性全脳炎」も無視できません。



### 感染症専門家からのアドバイス

麻疹は、有効な治療法もなく、予防が重要となります。麻疹ワクチンは、数あるワクチンの中でも、専門家が強く推奨するものとなります。2回の接種が必要ですが、生まれた年代によっては1回しか接種していない方もおり、追加の接種が予防に有用となります。